



THE SENDAI BANK
Interim Disclosure

SPRESSO

仙台銀行 2007年中間期 ディスクロージャー誌 別冊 [エス・プレzzo]



仙台銀行がある街

～私たちのホームタウン～

みんなが大好きな‘ふるさと’。

私たち仙台銀行は、そんな‘ふるさと’をホームタウンとしている銀行です。その‘ふるさと’で今年の10月から開催される大型観光キャンペーン「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」を、県民・市民の皆さんに広く伝えたいと思い、当行ではテレビCM「仙台銀行がある街 ～私たちのホームタウン～」4編を制作しました。これは、若手職員が中心となって企画・制作したもので、有名観光地だけではなく、日常生活にある風景の美しさにスポットを当てながら、県内各地で撮影を行い、多数の地域の方にも快く出演していただきました。

また、河川恭吾さんによるオリジナルCMソングが、仙台・宮城の魅力を一層引き立てるCMとなりました。

『ただいま』 作詞・作曲 河川 恭吾 氏

「おかえり。」って君がいつも笑顔をくれるから
僕はまたがんばれる
小さな喜び二人つづれ織るこの日々
何度も何度も君に言わせて…「ただいま。」

(仙台銀行オリジナル「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」応援曲)
このCMは当行ホームページ「CMギャラリー」でも公開しております。



S P R E S S O

仙台銀行は、設立の原点である「宮城県の中小企業の皆さまに役立つ」ことが企業使命です。仙台銀行の業績やトピックスを2007年中間期ディスクロージャー誌 別冊「Spresso (エス・プレッソ)」に分かりやすく“濃縮”しましたので、どうぞご覧ください。

「S」 SENDAI BANK 「press」 内容の濃い情報発信 「O」 原点を忘れない
ゼロ

※2007年中間期の詳細な財務データにつきましては、「2007年 中間期ディスクロージャー誌 本編」をご覧ください。



contents

仙台銀行がある街

頭取メッセージ 02

地域の皆さまとともに 06

◎仙台銀行の地域貢献活動 06

◎個人の皆さま 07

◎中小企業の皆さま 10

◎仙台銀行を希望する皆さま(採用関係) 11

◎トピックス 12

◎仙台銀行のCSR 13

◎仙台銀行のあゆみ 14

◎店舗ネットワーク 15

業績のハイライト(個別) 16



President Message

頭取メッセージ

仙台銀行
取締役頭取 三井 精一

仙台銀行は 「宮城県民」のための 地域金融機関

仙台銀行の設立には、「宮城県」が深くかかわっているとお聞きしましたが。

当行は昭和26年に設立しました。当時は戦後の経済混乱も終息しつつありましたが、宮城県の商工業界は深刻な資金難にあり、金融の円滑化が大きな課題となっていました。こうした中、当時の宮城県知事・佐々木家寿治氏の提唱により、宮城県が資本金の4割を出資して設立したのが当行の前身である「振興無尽株式会社」です。

設立にあたっては、宮城県のほかに、仙台・塩釜・石巻・古川（現 大崎）・気仙沼・白石の県内の地方自治体、商工会議所、地元経済界等から幅広い出資をいただきました。当時、都道府県が直接出資して金融機関を設立することはあまりなかったようです。

こうしたことから分かる通り、当行はまさに宮城県の皆さまによって設立された「県民銀行」なのです。

現在でも宮城県や仙台市、そして県内市町村の一部には株主になっていただいております。地方公共団体との結びつきが非常に強いことが当行の特徴です。

また、当行には営業店が71カ店ありますが、そのうち70カ店を宮城県に配置しており、名実ともに宮城県に特化した地域金融機関であると自負しております。

平成19年6月から宮城県各地の魅力を紹介する仙台銀行のテレビCMが放映されていますね。

このテレビCMは今年の10月から実施される「仙台・宮城 DESTINATION キャンペーン」を応援するために当行が

独自に制作したものです。

CM制作にあたっては、当行の若手職員が企画段階から参画し、「仙台銀行がある街～わたしたちのホームタウン～」と題して、宮城県各地の魅力を4編のCMに盛り込みました。

県内各地でCMを撮影しましたが、当行職員のほか、地域の皆さまにも快く出演していただきました。まさに地域の皆さまと作ったCMだと思います。

お陰さまでこのCMは多方面で好評を得ており、宮城県に密着していくという当行の企業姿勢を地域の皆さまに強くアピールできていると思います。当行ホームページでもCMを公開していますので、ぜひご覧いただければと思います。

中期経営計画 「好品質計画」への 取り組み

中期経営計画「好品質計画」に取り組まれています。好品質計画という言葉は、職員の皆さんだけでなくお客さまにも浸透していますね。

ありがとうございます。「好品質計画」という言葉には、地域のお客さまや株主さま、そして当行職員など、当行と関わりを持つさまざまな方々に、今まで以上に当行へ愛着を持っていただき、好きになっていただける銀行を目指そうという気持ちを込めています。

一方で、これは銀行の「品質」である私たち役員一人ひとりの対応力を高めていこうという「意欲」を表す言葉でもあります。

「好品質計画」のサービスマークは、CMやポスター、パンフレット、名刺・封筒など、当行が提供するさまざまな商品や



仙台銀行
取締役頭取 **三井 精一**

サービスで使用しており、私たちの考え方をより理解していただけるよう努めています。また、この「好品質計画」の言葉にふさわしい金融サービスをさらに充実させていくことが私たちの課題であります。

「好品質計画」では、宮城県に特化した地域金融機関としての「強み」を活かすという目標を掲げていますね。

当行の強みは、「宮城県内70カ店の店舗ネットワークと情報力」と「フェイス・トゥ・フェイスで親しみやすい」という点にあると考えています。宮城県には政令指定都市の仙台市を中心に多くの金融機関が進出していますが、県内でこの2つの要素を満たすことのできる金融機関は当行のみであると自負しています。

この強みを最大限に利用して、「仙台銀行グループにしかできないサービス」を展開し、地域のお客さまが好意的に選んでくれる銀行になりたいと考えています。こうした考え方のもと、「営業体制再構築プロジェクト」、「内部管理態勢強化プロジェクト」、「企業風土改革プロジェクト」の3つのプロジェクトに取り組んでいます。

「営業体制再構築プロジェクト」への取り組み状況について教えてください。

お客さまのニーズは、「金利の有利さや手続きの簡単さを求めるもの」と、「私たちとじっくり相談して資金運用や事業運営などさまざまな問題を解決したいもの」に大別できると思います。私たちは、こうしたお客さまのニーズに応えるため、さまざまなサービス開発や店舗設備の見直しなどに取り組んでいます。

「金利の有利さや手続きの簡単さ」については、ご退職

者さま向けに特別金利定期預金を発売したほか、お客さまが来店しなくても住宅ローンの事前審査を受けられるサービスなどを開始しました。また、ホームページで個人向けのローンの仮審査申込ができるようにしています。

「相談機能へのニーズ」については、平成19年11月に新築した古川支店において、個室タイプの相談窓口を設けるなど、お客さまがゆったりとご相談をしていただくためのスペースを新設しました。また、融資部企業支援室が営業店と連携しながら、取引先企業の経営改善にも力を入れております。経営改善はお取引先と対話を続けながら、地道に取り組まなければなりません。時間もかかります。しかし、こうした活動こそが地域金融機関である当行の重要な役割であると考えています。

「内部管理態勢強化プロジェクト」の取り組み状況は
いかがですか。

当行では、法令等遵守を経営の最重要課題に位置づけて、役職員が一体となって内部管理態勢の強化に取り組んでいます。

例えば、お客さまへの商品説明態勢の徹底、営業店への事務指導・監査機能の強化などは特に重視して継続的

に取り組んでいます。

平成19年9月に「金融商品取引法」が施行されました。この法令では、投資信託や個人年金保険など元本割れ等のリスクがある商品について、お客さまにその商品のリスク等を十分にご理解・ご納得いただいたうえでお取引いただくように、金融商品の販売や勧誘等に関するルールを定めています。当行では、この新しいルールに則った販売や勧誘等を行うために、行内体制を整備するとともに、職員に対する研修・実践指導に取り組んでいます。

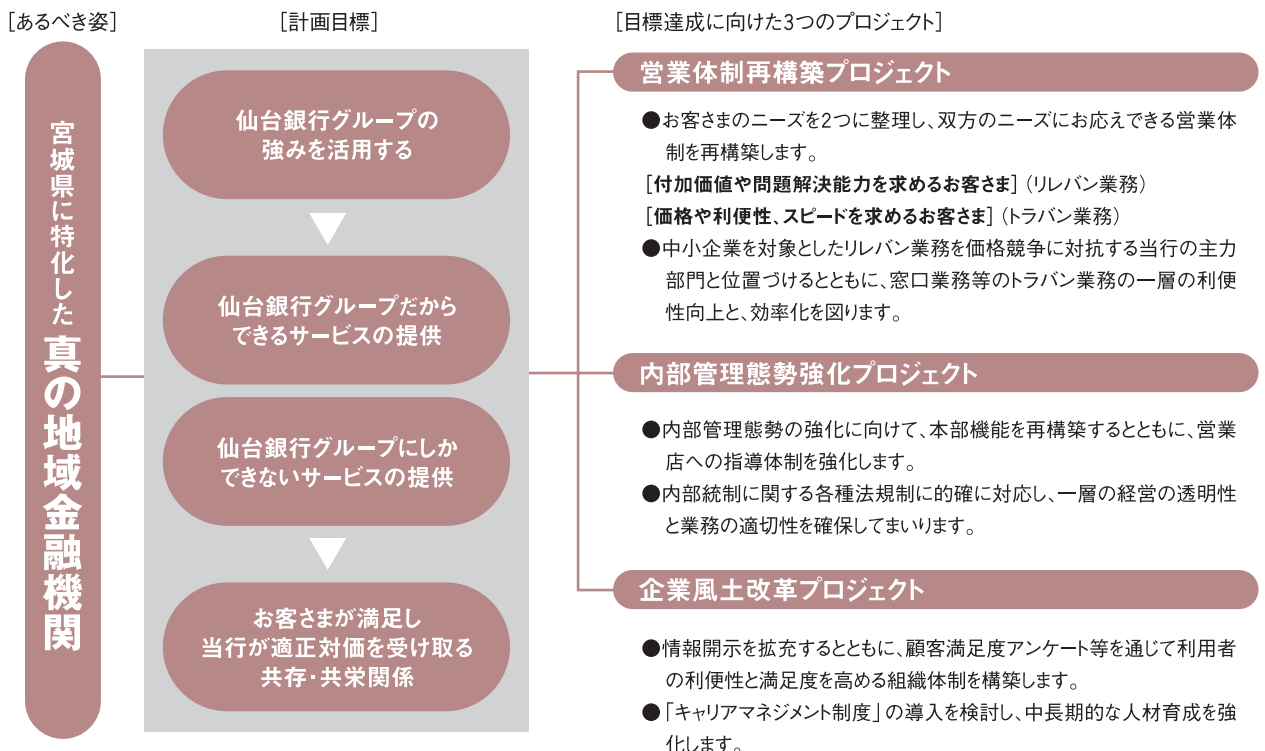
また、高度化・複雑化するリスク管理等に対しても、適切な体制を構築し、業務プロセスの明確化・適切化に取り組んでいます。

こうした取り組みは、銀行業務の礎である「お客さまからの信頼」を得ることにつながり、また、当行の行是である「信を万事の本と為す」にも通ずるものと考えています。

「企業風土改革プロジェクト」の取り組み状況は
いかがですか。

このプロジェクトでは、「お客さま第一主義」というサービス業の原点に立ち返り、お客さまの視点に立った情報開示を進めるとともに、高度化・広範化する金融サービスに対応

「好品質計画」の構成図



できる人材の確保・育成に取り組んでいます。

情報開示では、平成19年3月に当行ホームページを全面リニューアルし、今まで以上にさまざまな金融情報や当行の経営情報等をタイムリーに発信しています。また、子供たちの金融知識を高めるため、各営業店において小中学生の「職場見学」を積極的に受入れています。模擬紙幣による「1億円の重さ体験」や「お札の数え方体験」など、銀行の仕事により興味をもってもらえるような体験カリキュラムを用意しています。

人事制度については、中途採用を継続し、多様な人材の確保に努めています。また、平成19年10月からは非正規社員の活躍の場を広げるため「パートナー社員制度」を導入しました。この制度では、必要資格を取得し所属長の推薦を得ることなどにより、非正規社員を正社員へ登用する道を設けました。また、結婚や出産などで過去10年以内に当行を退職した元行員を再雇用するなど、人材の活用と能力開発に積極的に取り組んでいます。

これからの仙台銀行

今後、仙台銀行は宮城県に対して、どのような役割を担うべきであるとお考えですか。

現在、宮城県の経済は緩やかな回復基調にあります。昨年にはトヨタ自動車関連工場の宮城県進出が決定し、関連産業の振興などさまざまな経済波及効果も期待されています。

しかしながら、一方では景気回復の足取りに地域間格差や業種間格差があることも事実であり、事業所数の減少が続くなど、さまざまな課題を抱えています。金融業界では、ゆうちょ銀行の誕生やメガバンク・他県地銀等の進出などにより、競争が厳しさを増しています。

当行は「宮城県の中小企業金融の円滑化」を目的に誕生した地域金融機関です。この目的は時代や環境が変わ

ろうとも不変のテーマであり、当行が地域社会へ果たすべき使命であると考えています。常にお客さまを中心に経営を進め、地域に役立つ金融機関でありつづけることが当行の果たすべき役割であると考えています。

現在のお取引先さまや、株主の皆さまとの交流についてお聞かせください。

当行には、お取引先の事業主の方々や株主の皆さままで組織している「千成会」があります。この「千成会」は各営業店が事務局となって運営しており、宮城県内各地で開催される千成会の行事には私をはじめとした役職員が出席し、当行の経営方針や業績等について説明をしております。また、会員の皆さまから当行に対する忌憚^{きたん}のない意見を直接お聞きできる貴重な機会でもあります。会員の皆さまから寄せられる声は、私たち役職員にとって何よりも大切なものです。これからも積極的に事業主の方々や株主の皆さまの声を聞きしていきたいと思っております。

最後に、地域の皆さまへのメッセージをお願いします。

仙台銀行は宮城県に特化した地域金融機関として、今後も皆さまの信頼とご期待にお応えできるよう精一杯努力してまいります。一層のご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



President
Message
頭取メッセージ

仙台銀行の地域貢献活動

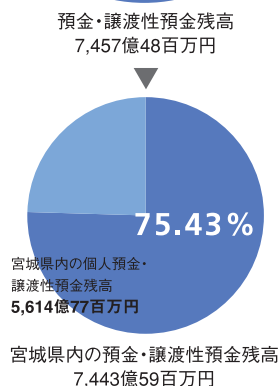
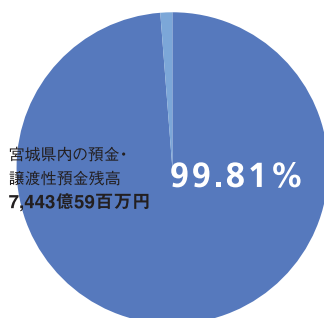
仙台銀行の地域貢献とは

当行は、昭和26年に宮城県知事の提唱により、「宮城県の中小企業の金融円滑化」を目的に、宮城県が資本金の4割を出資して設立された地域金融機関です。「宮城県の中小企業の方々のために役立つ」ことが、当行の企業使命であり、地域貢献であると考えております。

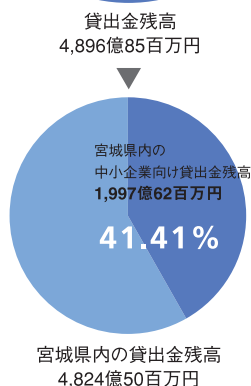
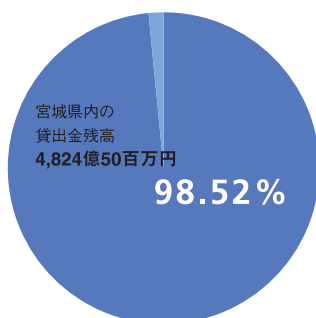
具体的には、事業資金やローンの提供という資金供給にとどまらず、経営相談やコンサルティング業務等を通じて中小企業の活動を多面的に支援していくことが、当行における地域貢献であると考えております。それと同時に、各種セミナーや講演会等の開催、地域行事への参加等も地域発展に必要なことであると考えております。

これからも当行は、地域貢献に関する情報をより一層積極的に開示し、地域の皆さまからご理解、ご満足いただけるよう努めてまいります。

■預金・譲渡性預金残高の内訳
(平成19年9月末現在)



■貸出金残高の内訳
(平成19年9月末現在)



当行の預金・譲渡性預金の状況

当行の預金・譲渡性預金残高7,457億48百万円のうち、宮城県内のお客さまより7,443億59百万円をお預かりしており、当行の預金・譲渡性預金残高全体の99.81%となっております。

そのうちの75.43%を占める5,614億77百万円を、宮城県内の個人のお客さまからお預かりしております。

当行の貸出金の状況

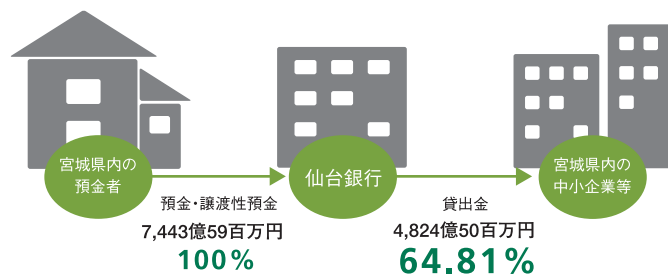
当行の貸出金残高4,896億85百万円のうち、宮城県内のお客さまへの貸出金残高は4,824億50百万円となっており、当行の貸出金残高の98.52%となっております。

そのうち41.41%を占める1,997億62百万円を宮城県内の中小企業の方々にご融資しております。

県内への資金供給

当行では、宮城県内のお客さまからお預かりした預金・譲渡性預金7,443億59百万円の64.81%を宮城県内の中小企業や個人のお客さまなどへご融資し、地域への円滑な資金供給を行っております。

■当行における宮城県内預金・譲渡性預金と貸出金の状況 (平成19年9月末現在)

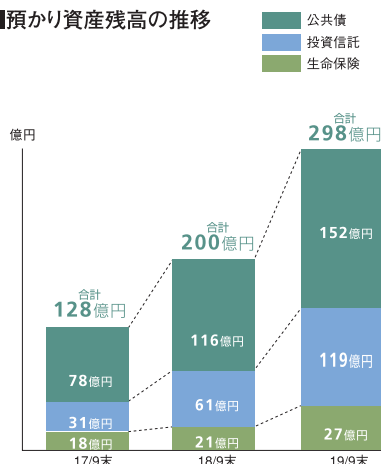


個人の皆さま

預かり資産残高

当行では、多様化するお客さまの資産運用ニーズにお応えするため、さまざまな商品を取り揃えております。

■預かり資産残高の推移



(注1) 生命保険:個人年金一時払終身
(注2) 生命保険残高は成約累計残高としており、解約分は考慮しておりません。

平成19年6月には、投資信託ラインナップに新たに3商品を追加いたしました。

公共債及び投資信託、生命保険を対象とした預かり資産残高は298億49百万円となりました。

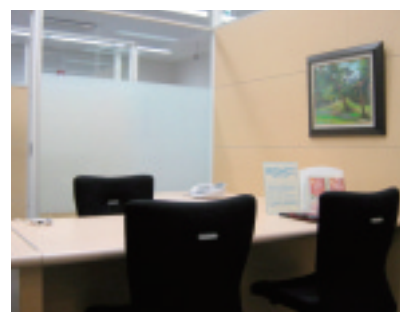
資産運用セミナー

当行では、お客さまに資産運用についての理解を深めていただくために、資産運用セミナーを随時開催しております。

セミナーは、資産運用の基本についての説明や個別の運用相談など、お客さまのご要望に応じた内容となっており、お客さまから好評をいただいております。

ご相談スペース

当行では、資産運用や住宅ローンなどについてゆっくりとご相談いただけるように、本店営業部や古川支店などに「相談ブース」を設置しております。



相談ブース(古川支店)

株式会社 仙台銀行
登録金融機関 東北財務局長(登金)第16号
加入協会:日本証券業協会

金融商品に関する勧誘方針

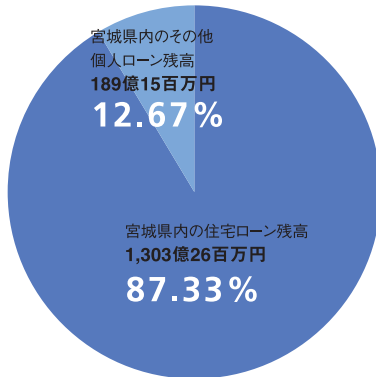
当行は金融商品の販売等にあたり、以下の方針に沿って適切な勧誘を行います。

- わたしたちは、金融商品の内容を十分に熟知したうえで、その内容を正しくお客さまにご説明いたします。また、断定的な判断の提供や事実と異なる情報の提供など、お客さまの誤解を招くような勧誘は行いません。
- わたしたちは、お客さまご自身のご判断によりお取引いただけるよう、リスク内容などの重要な事項について、書面での交付その他の適切な方法によりご理解をいただくよう努めます。
- わたしたちは、お客さまのご迷惑となる時間帯には、金融商品の勧誘は行いません。なお、事前にお客さまのご了解をいただいている場合を除きます。
- わたしたちは、お客さまに金融商品に関する十分かつ的確な情報を提供するため、当該金融商品に関する商品特性、事務処理要領などの習得、研さんに努めます。
- わたしたちは、お客さまの知識、経験、財産状況及び当該金融商品の販売に係る契約を締結する目的に照らし配慮すべき事項を踏まえ、適切な商品の勧誘を行います。
- わたしたちは、金融商品販売法、金融商品取引法及び関係法令等を遵守し、適切な勧誘が行われるよう、内部体制の強化に努めます。

当行では、お客さまからの苦情、ご要望に対する相談を承っておりますので、ご遠慮なく営業店窓口までお申しつけ下さい。

個人の皆さま

■宮城県内の個人ローン残高の内訳 (平成19年9月末現在)



宮城県内の個人ローン残高
1,492億41百万円



県内の住宅ローン残高

当行における宮城県内の個人ローン残高1,492億41百万円のうち、住宅ローン残高は1,303億26百万円であり、宮城県内個人ローン残高全体の87.33%を占めております。

住宅ローンプラザ

当行では、住宅ローンについて、ゆっくりご相談いただくために、本店(日曜日は仙台東口支店)に住宅ローンプラザを設置しております。

専門のスタッフがご相談に応じますので、お気軽にご相談ください。

| | | |
|-------|----------------------|-----------------|
| 営業時間 | 平日 9:00~20:00 | 日曜日 10:00~17:00 |
| 場所 | 本店ビル5階 | 仙台東口支店 |
| 休業日 | 土曜日・祝日・振替休日 | |
| お問合せ先 | フリーダイヤル 0120-3000-39 | |

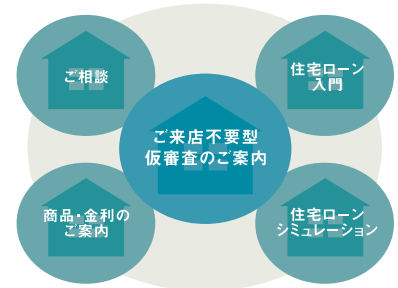
※平日は、仙台銀行本店ビル5階で営業しておりますが、日曜日は、仙台東口支店で営業しておりますのでご注意ください。

住宅ローンへの取り組み

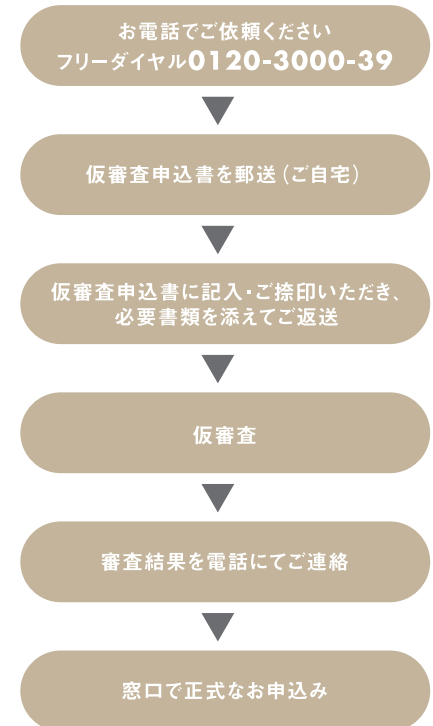
当行では、お客さまのニーズにお応えするため、「ずっと金利優遇プラン」の取り扱いを開始しております。

また、住宅ローンのご利用を考えていても、銀行の窓口へ来店する時間がとれないお客さまのニーズにお応えするため、平成19年4月から「ご来店不要型仮審査」の受付サービスを開始いたしました。

なお、当行ホームページにおいて、住宅ローン入門(諸費用・借換まめ知識など)や住宅ローンシミュレーションなど、住宅ローンに関する情報を掲載しておりますのでご覧ください。



■住宅ローン「ご来店不要型仮審査」の流れ



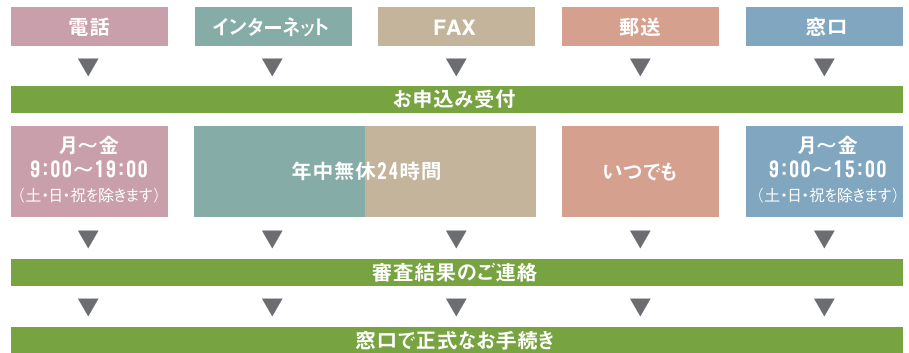
インターネットでも仮審査申込可能! スーパーフリーローン

当行では、多様化する資金ニーズにお応えするため、スーパーフリーローンを取り扱っております。

スーパーフリーローンは、お使いみちが自由で、当行とお取引がない方でもお申し込みができます。電話やファックスのほか、インターネットでも仮審査申込ができ、好評をいただいております。

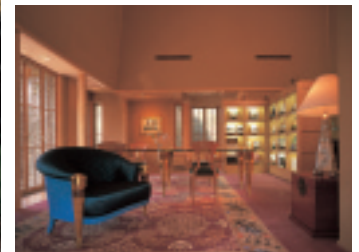


■スーパーフリーローンのお申し込みの流れ



冬の感謝祭

平成19年12月3日から「冬の感謝祭」を実施しております。日ごろから当行をご愛顧いただいておりますお客さまへ抽選で松島佐勘「松庵」さまの1泊2日ペア宿泊をプレゼントいたします。(平成20年1月31日まで)



松島佐勘「松庵」

中小企業の皆さま



創業支援セミナー

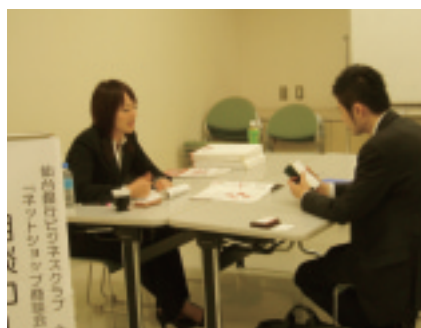
創業支援セミナー

当行では、創業を考えている方や新しい事業を考えている方のために、平成19年9月に「創業支援セミナー」（国民生活金融公庫共催）を開催しました。

セミナーでは、創業の心構えや創業を成功させるためのポイント等を中小企業診断士が講演しました。講演終了後には、「個別創業相談会」を開催し、創業に際しての疑問点等についてアドバイスいたしました。

仙台銀行ビジネスクラブ

「仙台銀行ビジネスクラブ(略称SBC)」は、



ネットショップ商談会

お取引先の事業者の方を会員として構成されており、平成19年9月末現在の会員数は、719名となっております。

平成19年10月には、SBC主催による「ネットショップ商談会」を開催しました。この商談会では、インターネットショッピングモール「楽天市場」の出店に興味を持つSBC会員企業等が楽天株式会社へネットショップに関する疑問・問題等につ

いて相談するなど、ネットショップへの出店等についてサポートいたしました。

法人開拓プロジェクトチーム

法人開拓プロジェクトチームでは、新規取引先を含む法人の方々などのお借り入れニーズにお応えするため、提案型融資の推進を行っております。

車両担保ローン「スーパー快走便」

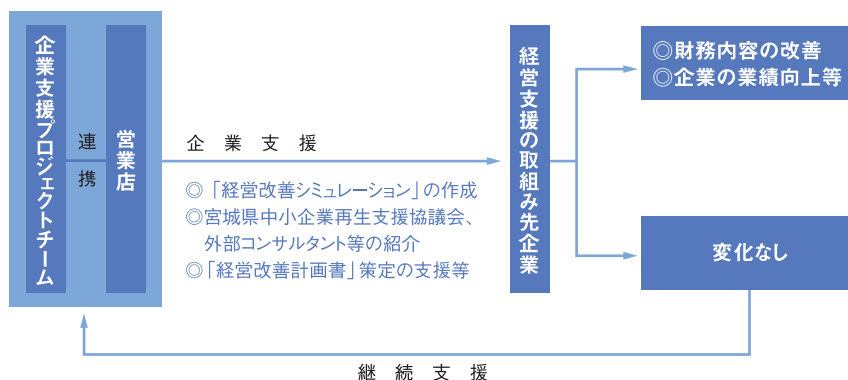
平成19年9月に、車両担保ローン「スーパー快走便」の取り扱いを開始いたしました。

「スーパー快走便」では、新たに購入する業務用車両や、既に所有している業務用車両を担保に運転資金等をお借り入れいただくことができますので、不動産等の担保が不要となっております。

経営改善支援

当行では、本部内に「企業支援プロジェクトチーム」を設置し、営業店とともに、お取引先の皆さまの経営環境や経営活動の分析、「経営改善シミュレーション」等による改善アドバイスを積極的に行っております。

■経営改善支援の流れ



仙台銀行を希望する皆さま（採用関係）

当行では、お客さまにご満足いただくためには、職員一人ひとりがやりがいを持って働くことが重要であると考えております。

そのために、当行では職員一人ひとりの特性や能力を生かすために、さまざまな採用制度を導入しております。

新卒採用

当行では、自分の力を地域へ役立てたい、自分の人生を充実させたいという熱意ある学生の皆さんと一緒に働くことを楽しみにしております。

また、当行では、内定した学生の皆さんを対象に、営業店訪問等を実施しております。

これは自分自身が働く職場へ訪問することで、銀行の仕事を肌で感じ、自分の将来像や目標を明確にしてもらうことを目的に取り組んでいるものです。

中途採用

当行では、多様化する銀行業務に対応するため、銀行・保険・証券会社等の金融機関経験者や、豊富な専門知識・経験を持つ人材の募集を行っております。

詳しくは、[当行ホームページ](#)
「採用情報」をご覧ください。

パートナー社員制度

平成19年10月から、非正規社員の戦力化を図るために「パートナー社員制度」を導入いたしました。

パートナー社員は、短時間パートナーとフルタイムパートナーに分かれております。

フルタイムパートナーは、勤務時間が正社員と同一であり、必要資格の取得等により、正社員への登用も可能となっております。

また、結婚、出産、育児、介護等を理由として過去10年以内に退職した当行元行員をフルタイムパートナーとして再雇用しております。



トピックス (平成19年4月～12月)

| Topics | |
|--------|--|
| 4月 | ◎住宅ローン「金利優遇プラン」・ 「ご来店不要型仮審査」を開始 |
| 5月 | 入金 ネット ◎ATMでの相互入金取引サービスを開始 |
| 6月 | ◎企業イメージCM 「仙台銀行がある街」の放映を開始 ◎「仙台銀行 夏の感謝祭」を実施 (平成19年6月1日～8月31日) ◎「仙台銀行 悠遊プラン」を販売 (平成19年6月1日～9月28日) |
| 8月 | ◎企業イメージCM「仙台銀行がある街」 全4編の完成 |
| 9月 | ◎「仙台銀行 悠望プラン」を販売 (平成19年9月3日～平成20年1月31日) ◎「創業支援セミナー」を開催 (平成19年9月22日) |
| 10月 | ◎「ネットショップ商談会」を開催 (平成19年10月29日) |
| 11月 | ◎秋季講演会を開催 (平成19年11月9日) |
| 12月 | ◎「仙台銀行 冬の感謝祭」を実施 (平成19年12月3日～平成20年1月31日) |

講演会

当行では、毎年1月と11月に本店9階講堂において講演会を開催しております。

平成19年11月に開催した秋季講演会では、平成20年10月に実施される「仙台・宮城ステイネーションキャンペーン」を応援するため、脚本家の内館牧子氏を講師に迎えて、「仙台・宮城の魅力」をテーマにご講演いただきました。



脚本家 内館牧子氏

営業店レター

当行では、営業店エリアの情報をより多くの方々に知っていただくために、ホームページに「営業店レター」を掲載しております。

「営業店レター」では、営業店エリアにおけるイベントやおすすめスポット等の地域情報を掲載しております。



営業店レター (志津川支店)

仙台銀行のCSR

公益信託「仙台銀行まちづくり基金」

宮城県内でまちづくり活動等に取り組んでいる方々を応援するため、平成4年6月に創業40周年記念事業として公益信託「仙台銀行まちづくり基金」を設立いたしました。

設立以来16年間で助成累計は56先、総額715万円となります。



白石商工会議所(白石市)



三本木まちづくり協議会(大崎市)



将監支店

職場見学

当行では、小学生や中学生を対象に、「銀行の仕事」をより理解してもらうことを目的に、職場見学を行っています。平成19年度上半期は8回開催しました。

職場見学では、銀行業務の基礎知識やお札の数え方体験、銀行窓口の見学等を行っています。

なお、見学風景はホームページ「仙台銀行をみてみよう!」に掲載しております。



本店

無料法律相談室

当行顧問弁護士による無料法律相談を本店2階相談室にて毎月開催しております。(予約制)

地域行事への参加

本店のある仙台市では、1月の「どんと祭」、5月の「仙台青葉まつり」、8月の「七夕まつり」と四季折々に行事が開催されます。当行では地域の一員として、積極的に行事に参加しております。

また、各支店の所在地で行われる行事にも積極的に参加し、地域の活性化に協力しております。



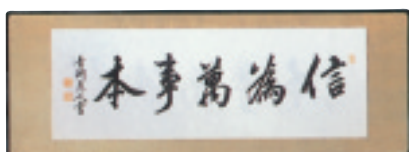
仙台青葉まつり「すずめ踊り」

CSR:Corporate Social Responsibilityの略。企業が果たすべき社会的責任。

仙台銀行のあゆみ

戦後の経済混乱も治まりつつあった昭和26年、宮城県下の商工業界の資金難から金融の円滑化が強く叫ばれていた中で、各地商工会議所等商工団体の要望に応え、時の宮城県知事佐々木家寿治氏が金融機関設立を提唱し、宮城県が資本金の4割を出資し昭和26年5月25日振興無尽株式会社が誕生いたしました。

行是「信を万事の本と為す」に立脚し、公正明朗かつ堅実な業務運営により設立の使命である国民貯蓄の増強と中小企業金融の円滑化に寄与することを経営理念に掲げ、昭和26年7月5日に創業いたしました。



行是「信為萬事本」(しんをばんじのもととなす)
我が国銀行の創始者であり、経済道徳合一主義の提唱者である渋沢栄一氏の揮毫



本店社屋(昭和29年~44年)

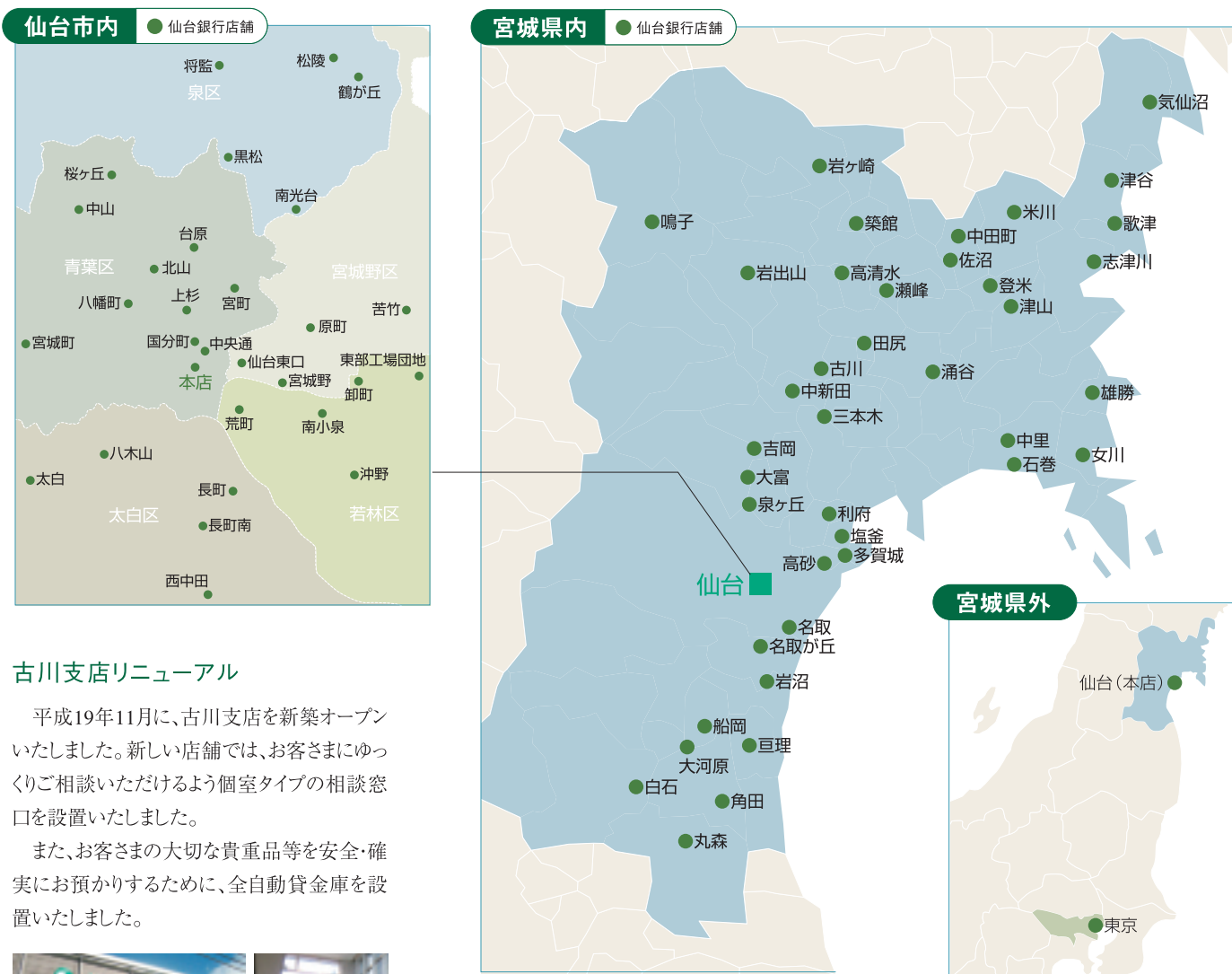


本店(昭和44年竣工)

| | | | | | |
|-------|---------|-------------------------------|-------|---------|---------------------------------------|
| 昭和26年 | 1951年5月 | 振興無尽(株)設立 | 平成10年 | 1998年3月 | 徳陽シティ銀行からの営業譲受けに関する契約を締結 |
| | 7月 | 業務取扱開始 | | 4月 | ATM祝日稼働開始 |
| 昭和27年 | 1952年5月 | 相互銀行法の施行により(株)振興相互銀行と商号変更 | | 11月 | 徳陽シティ銀行営業譲受け完了(譲受け店舗19カ店、うち既存店舗2カ店統合) |
| 昭和36年 | 1961年7月 | 創業10周年 | | | 預金高7,000億円達成 |
| 昭和44年 | 1969年5月 | 新本店落成開店(現本店) | 平成11年 | 1999年2月 | 普通銀行転換10周年 |
| 昭和46年 | 1971年7月 | 創業20周年 | 平成12年 | 2000年4月 | 仙銀カード(株)設立(同年6月営業開始) |
| 昭和49年 | 1974年3月 | 資金量1,000億円達成 | | 5月 | 新オンラインシステム稼働開始 |
| 昭和56年 | 1981年7月 | 創業30周年 | 平成13年 | 2001年7月 | 創業50周年 |
| 昭和58年 | 1983年4月 | 公共債の窓口販売開始 | 平成14年 | 2002年1月 | ATM365日稼働開始 |
| 昭和59年 | 1984年9月 | 外国為替公認銀行として業務開始 | | 3月 | 東北第二地方銀行5行によるATM提携サービス開始 |
| 昭和61年 | 1986年3月 | 資金量3,000億円達成 | | 4月 | 中期経営計画「ステップ・アップ・プラン」開始 |
| 平成元年 | 1989年2月 | 普通銀行へ転換し(株)仙台銀行に商号変更 | | 8月 | 四半期情報開示の開始 |
| 平成2年 | 1990年5月 | 第三次オンライン(勘定系)開始 | | 10月 | 生命保険の窓口販売開始 |
| | 7月 | 仙銀ビジネス(株)設立 | 平成15年 | 2003年2月 | 大東銀行仙台支店営業譲受け |
| 平成3年 | 1991年7月 | 創業40周年 | 平成16年 | 2004年2月 | 住宅ローンプラザ開設 |
| 平成4年 | 1992年4月 | 公益信託「仙台銀行まちづくり基金」設立認可 | | 4月 | 中期経営計画「ステップ・アップ・プランII」開始 |
| 平成6年 | 1994年3月 | 預金高5,000億円達成 | 平成17年 | 2005年4月 | 「好品質計画」開始 |
| | 4月 | 信託業務(代理店方式)取扱開始(取扱店本店営業部外9カ店) | 平成18年 | 2006年4月 | 中期経営計画「好品質計画」開始 |
| | 7月 | 振込機能付ATMによる為替振込サービス取扱開始 | | 5月 | (株)セブン銀行とのATM利用提携開始 |
| 平成7年 | 1995年7月 | カードによるATM預入サービス開始 | | 11月 | 岩手銀行とのATM相互開放開始 |
| 平成8年 | 1996年3月 | メールオーダーサービス開始 | 平成19年 | 2007年6月 | 本店ビル耐震工事完了 |

店舗ネットワーク

当行では、営業店71カ店のうち70カ店、ならびに222台のATM（CDを含む、店舗内ATM127台・店舗外ATM95台）を宮城県全域に配置し、お客さまの利便性の向上に取り組んでおります。（平成19年12月末現在）



古川支店リニューアル

平成19年11月に、古川支店を新築オープンいたしました。新しい店舗では、お客さまにゆっくりご相談いただけるよう個室タイプの相談窓口を設置いたしました。

また、お客さまの大切な貴重品等を安全・確実にお預かりするために、全自動貸金庫を設置いたしました。

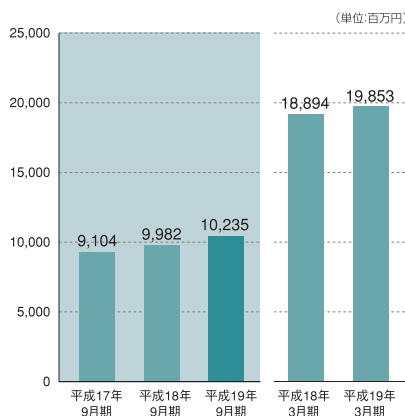


業績のハイライト（個別）

The highlight of achievements

経常収益

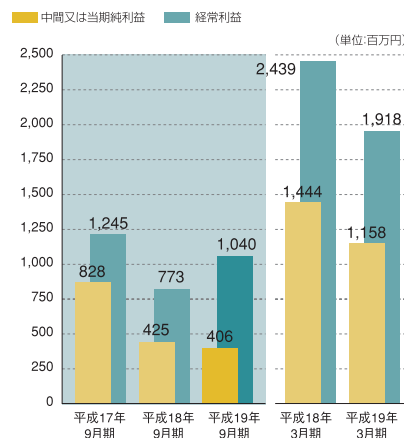
経常収益は、有価証券利息配当金及び投資信託等の預かり資産手数料が増加したことや、株式等売却益を計上したことなどから、102億35百万円（前年同期比2.5%増）となりました。



経常利益・中間純利益

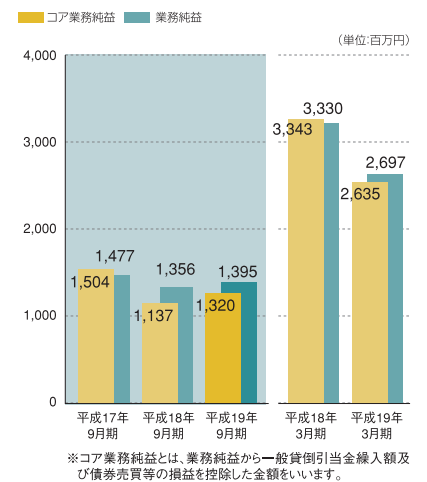
経常利益は、貸倒償却引当費用（一般貸倒引当金繰入額＋不良債権処理額）が前年同期比で2億68百万円減少したことなどから、10億40百万円（前年同期比34.4%増）となりました。

中間純利益は、会計制度の変更にもない睡眠預金払戻に対する引当金等を新たに計上したことなどから、4億6百万円（前年同期比4.5%減）となりました。



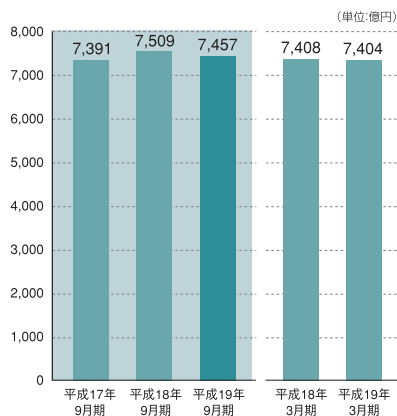
業務純益・コア業務純益

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益及び役務取引等利益が増加したことや経費の削減に努めたことなどから、13億20百万円（前年同期比16.1%増）となりました。



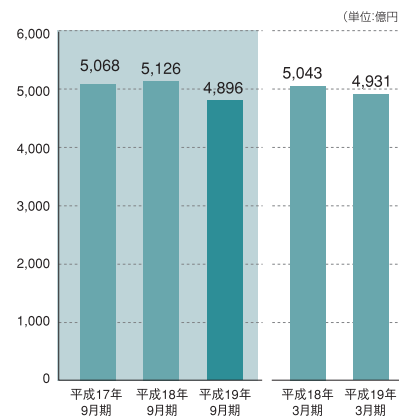
預金・譲渡性預金残高

預金・譲渡性預金残高は、主力の個人預金は堅調に推移したものの、法人預金及び公金が減少したことなどから、7,457億48百万円（前年同月比0.6%減）となりました。



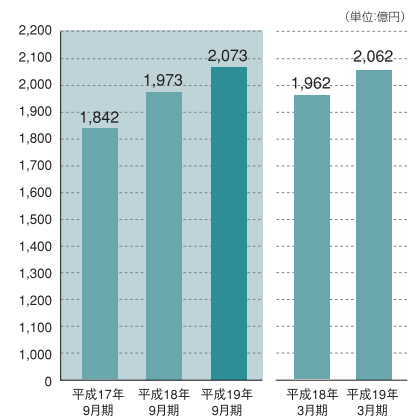
貸出金残高

貸出金残高は、地方公共団体向け貸出が堅調に推移したものの、中小企業向け貸出や住宅ローンが減少したことなどから、4,896億85百万円（前年同月比4.4%減）となりました。



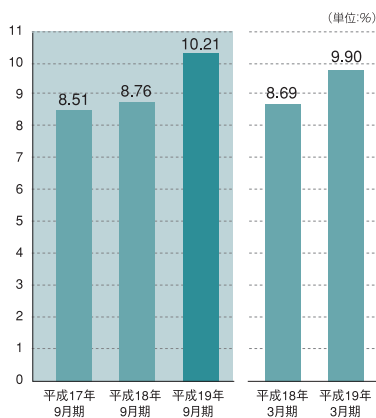
有価証券残高

有価証券残高は、市場動向等を勘案し、リスクの分散を図りながら、資金の効率的かつ安定的な運用に傾注した結果、2,073億89百万円（前年同月比5.0%増）となりました。



単体自己資本比率(国内基準)

単体自己資本比率(国内基準)は、前年同
期比1.45ポイント上昇し、10.21%となりました。



格付

当行では、第三者による評価をととして、財
務内容の健全性と経営の透明性を積極的に
開示していくことにより、株主やお取引先の皆
さまに当行の経営状況をより深くご理解いた
だくことを目的に、平成19年10月に株式会社日本
格付研究所(JCR)より格付を取得いたしました。

格付機関

株式会社日本格付研究所(JCR)

格付種類

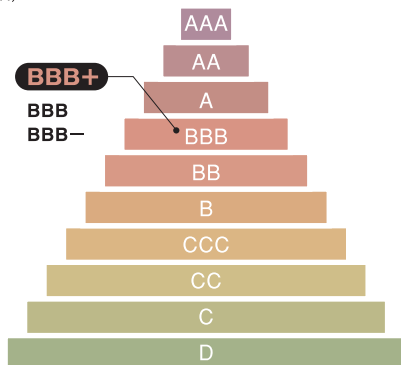
長期優先債務格付

格付

BBB+(トリプルBプラス)

見通し

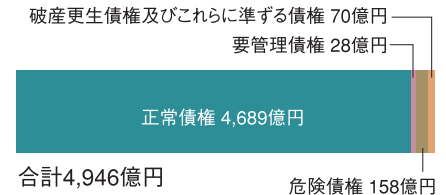
安定的



金融再生法開示債権

金融再生法に基づいた資産査定の結果、
銀行の保有する債権(貸出金・支払承諾見
返等)のうち、正常債権以外の債権額は、257
億77百万円(前年同月比54億26百万円減)
となりました。

金融再生法に基づく開示債権額(平成19年9月現在)



金融再生法開示債権の保全内訳

(平成19年9月末現在、単位:百万円)

| | 債権額(A) | 保全額(B) | 保全額(B)の内訳 | | 保全率(B/A) |
|-------------------|--------|--------|-----------|-------|----------|
| | | | 担保・保証等 | 貸倒引当金 | |
| 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 | 7,068 | 7,068 | 5,166 | 1,902 | 100.00% |
| 危険債権 | 15,813 | 14,475 | 12,987 | 1,487 | 91.54% |
| 要管理債権 | 2,894 | 1,401 | 873 | 528 | 48.42% |
| 合計 | 25,777 | 22,945 | 19,027 | 3,918 | 89.02% |

破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等
の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及
びこれらに準ずる債権。

危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態
及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収
及び利息の受取りができない可能性の高い債権。

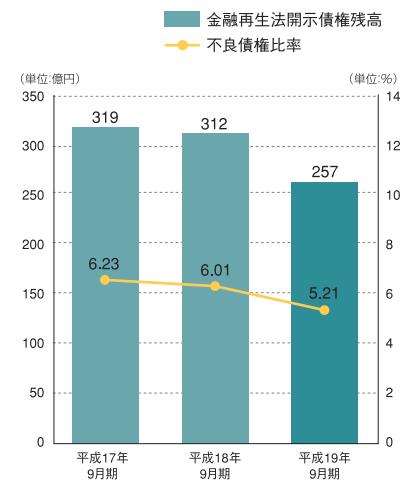
要管理債権

3ヵ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権。

正常債権

債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないもの
として、上記3つの債権以外のものに区分される債権。

不良債権比率の推移



好品質計画



仙台銀行の概要 (平成19年9月末現在)

創 業 昭和26年7月5日
資本金 74億85百万円
本 店 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
店舗数 71カ店 (宮城県内70カ店、東京1カ店)
行員数 786人 (男子576人、女子210人)
預金・譲渡性預金 ... 7,457億円
貸出金 4,896億円

株式会社仙台銀行 企画部
〒980-8656 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
TEL.022-225-8241 (代)
平成20年1月発行

ホームページ <http://www.sendaibank.co.jp/>



このカタログは大豆油インキで印刷しています